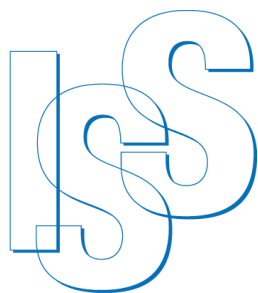


第6回難民理解講座

# 難民ソーシャルワーク —事例からの報告—



International  
Social Service

2016年11月26日

社会福祉法人 日本国際社会事業団 (ISSJ)

常務理事 石川美絵子

- International Social Service Japan (ISSJ)
  - 人々が国境を越えることで生じるさまざまな福祉問題の相談に応じる民間団体
  - 1952年設立
- 事業内容
  - ▣ 養子縁組
  - ▣ 国際離婚後の面会交流支援
  - ▣ 国籍取得支援
  - ▣ 在日難民・難民申請者の支援



# ISSJの難民支援

- ソーシャルワークをベースとする難民申請者・難民定住家族への相談援助
- 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）委託事業

- 収容されている難民申請者へのカウンセリング
- 生活に関する相談援助
- 医療へのアクセス支援
- コミュニティへの支援
- ワークショップの開催（不定期）

# 日本で暮らす難民

## □ 日本の難民受入（総計） ※ 1978～2015年（法務省統計資料より）

□ インドシナ難民：	11,319人	} 合計：14,530人
□ 第三国定住難民：	105人	
□ 条約難民：	666人	
□ 人道配慮による在留許可：	2,446人	

## □ 難民と在留資格

□ 難民認定：	定住（1年、3年、5年）
□ 人道配慮による在留許可：	特定活動（1年）
□ 難民申請者：	特定活動（6ヶ月更新）
	仮滞在許可（6ヶ月更新）
	仮放免（在留許可なし）

※ インドシナ難民・第三国定住難民の多くは定住者

# ソーシャルワークのグローバル定義

- ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。
- 社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。
- ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

(国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW)

2014年7月 オーストラリア メルボルン総会にて採択)

# 生活課題（1）

## □ 難民申請中

- 利用できる社会資源が少ない（特に仮放免者）
- 情報に十分にアクセスできない（難民認定手続きを含む）
- 経済的困窮
- ト라우マ・人間不信・社会不信（申請中に限らない）
- 制約が多く、社会統合困難
- 将来展望を描けない（将来に向けた計画を立てられない）
- やること・行くところがない
- 心身の健康状態の悪化

# 生活課題（2）

## □ 定住後

- 言葉の壁（※申請中よりも高度な言語スキルが必要）
- 文化の違い（学校文化、病院文化、子育て、家族関係、職業倫理など生活のあらゆる場面で遭遇）
- 家族・親族からの支援が少ない、または皆無（インフォーマルなセーフティネットが不十分）
- 身分事項等を証明する書類の不足
- 社会保障・行政サービスに関する情報へのアクセス・理解が限定的
- 職場でのコミュニケーション・差別
- 難民コミュニティの有無
- 女性の地位（コミュニティ・宗教によって異なる）
- 家族呼び寄せ
- 社会一般での難民に対する理解

# 難民ソーシャルワークの難しさ

- 言語・習慣・宗教などの違い
  - 価値観・考え方・感じ方の相違
  - ニーズが表明されにくい（本人が主訴を明確にできない）
- 
- ⌘ 思い込みをなくし、隠れている部分を考える
  - ⌘ 個別の背景を理解し、状況を評価する
  - ⌘ 難民の権利・難民としての状況を理解する
  - ⌘ 言葉のせいにしない



# メンタルヘルスの視点（1）

Bさん（女性）はアフリカ某国の村で、反政府活動を行う宗教団体に属していた。ある日、その活動を快く思わない複数の男性から集団暴行を受けた。身の危険を感じて首都に移動したが、治安が悪化したため日本に逃れた。

# メンタルヘルスの視点（2）

- 頭痛や不眠を訴えることがあっても、病識がない場合が多い
- 強い身体的痛みとなって現れることがある
- 精神科にかかることへのスティグマ→教育レベルにより受入に差がある
- 多くの薬（錠剤）を飲むことが不安→点滴だと安心
- 「心が疲れている」という言葉には納得

# 社会資源の開発

- 関係機関・組織との連携
  - ▣ UNHCR、役所、病院、保健所、子ども家庭支援センター、学校、支援団体、企業
- ボランティアセクター
  - ▣ 学習支援室、教会、学生

# 日本に難民は定住したか

- 成長と自立
  - ▣ 経済的自立、社会的自立、精神的自立
  - ▣ 自助、共助、公助
  - ▣ 気づきを促す
  
- 難民のプレゼンスを高めるために…

ありがとうございました

Thank you Merci Gracias

謝謝 고마워요 ขอบคุณ

شكرا لك باधन्यवाद تشكر از شما

С п а с и б о Aitäh

社会福祉法人 日本国際社会事業団 (ISSJ)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル3F

電話：03-5840-5711

Email：issj@issj.org